

科目区分：人文・社会科学科目

授業科目名	社会と歴史（個性と公共性）					学期	曜日	校時
英語名	Society and History (Individuality and Public)							
担当 教員名	新田 照夫	単位数	2単位	必修 選択	選 択	後期	火曜日	3校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>これからの社会あるいはどんな職場であっても、一人ひとりが価値観の異なる人々と共に生きていくことができる「公共性」と、社会の中で責任持って自分なりの役割と責任を果たしていくことができる「個性的能力」の育成が求められている。こうした人間的資質あるいは人間の形成を求めるこれからの新しい社会のあり方を考えることができる社会学理論について学ぶ。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
参考書：新田照夫『大衆的大学と地域経済』（大学教育出版：岡山）								
対象学生	成績評価の方法					教員研究室		
全学部	毎回学生が提出するレポートと出席状況、試験を総合して成績を評価する。							
授 業 計 画								
<p>A：社会的行為としての（私たちの生活） 1．私たちの生活と社会：現代社会で「生きる」こと、「生活すること」、「大人になること」を考える。 2．社会学の二つの系譜：「規範科学」としての社会学と「現実科学」としての社会学</p> <p>B：人間の社会的行為と自然 3．技術革新と自然破壊：工業化がもたらす、社会の都市化と自然破壊を考え直す。J・ルソー 4．工業化と民主主義の発展：科学的認識の発展と日常生活の中の多様な差別への意識化及び克服の歴史</p> <p>C：社会的存在としての人間：個人・家族・地域社会 5．自我の社会性と社会規範：欧米と異なる日本社会：C・クーリー、F・テンニース、R・マッキーバー 6．都市化と社会構造の転換：日本社会独自の都市化：我が国における社会的規範価値の歴史的変遷 7．現代日本の家族変容：社会保障・社会福祉における家族の役割 8．ボランティアと地域住民組織：コミュニティ福祉の理念と方法 9．社会構成の変化：転換期にある経済効率優先の工業社会と新しい社会的規範価値 10．新しい「豊かさ」と生活の質：新たな社会的規範価値の出現と生活様式・職業形態の変化</p> <p>D．変容する現代社会の諸問題 11．現代社会とジェンダー：少子・高齢化社会のジェンダー問題 12．岐路に立つ国家（民族社会）：世界の国家の変容と新しい国際社会の秩序 13．日本とアジア：現代国際社会におけるアジアの位置と日本の役割について考える</p> <p>オフィスアワー（質問受付時間） 毎回の感想用紙の中で、質問を受け付ける。</p>								